

2024年6月28日  
株式会社フコク

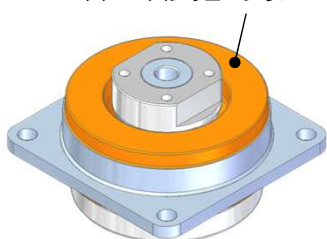
## フコクの「衛星用アイソレータ」が 先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4) に採用されました 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、三菱電機株式会社との共創

株式会社フコク（本社：埼玉県上尾市）は、人工衛星に搭載される観測機器類の機能を十分に発揮させることに貢献する防振ゴム製品「衛星用アイソレータ」を、宇宙航空研究開発機構（JAXA）及び三菱電機株式会社と共同で開発しました。  
この製品は6月30日（日）に種子島宇宙センターより打上げ予定の基幹ロケット「H3」に搭載の先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4) に採用されています。

### 製品概要

<衛星用アイソレータ>

スペースシリコンラバー



#### 1. 機能

人工衛星内に搭載された機器類（姿勢制御アクチュエータ等）の作動により発生する振動のセンサー類への伝達を絶縁。

#### 2. 特徴

フコクが独自に開発した宇宙空間に適応したシリコンゴム「スペースシリコンラバー」を採用。

温度環境が非常に厳しく、かつ耐真空性、耐放射線性、アウトガス※<sub>1</sub> 抑制など、地上と異なる環境特性が求められる宇宙空間においても安定した性能を発揮。

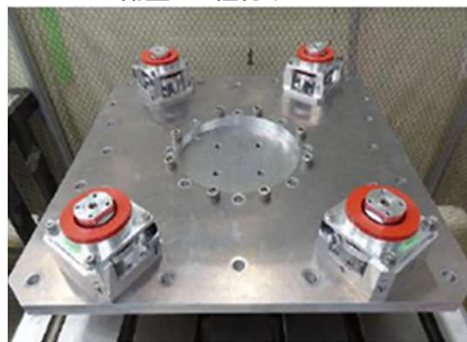
### 共創ポイント

#### 人工衛星内の振動伝達を抑制し、衛星の観測性能をサポート

三菱電機株式会社により設計・製造された「だいち4号」(ALOS-4) は、先進的なレーダであるLバンド合成開口レーダ(SAR) により、地球を観測する人工衛星です。

フコクは「衛星用アイソレータ」の提供により、高性能な人工衛星に不可欠な振動伝達抑制を実現しました。

<人工衛星への組付イメージ ※2>



©JAXA/MELCO

### 今後の展開

フコクは宇宙開発分野の発展のためにさまざまな挑戦をしており、今後も宇宙産業でのプレゼンスを高めるべく新たな価値を創造し続けてまいります。

以上

※ 1 真空環境下において有機材料等から放出される揮発ガス

※ 2 JAXA/MELCOより提供